

竹原管内景況調査

6月の景況DIは、製造業、非製造業ともに悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和元年6月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

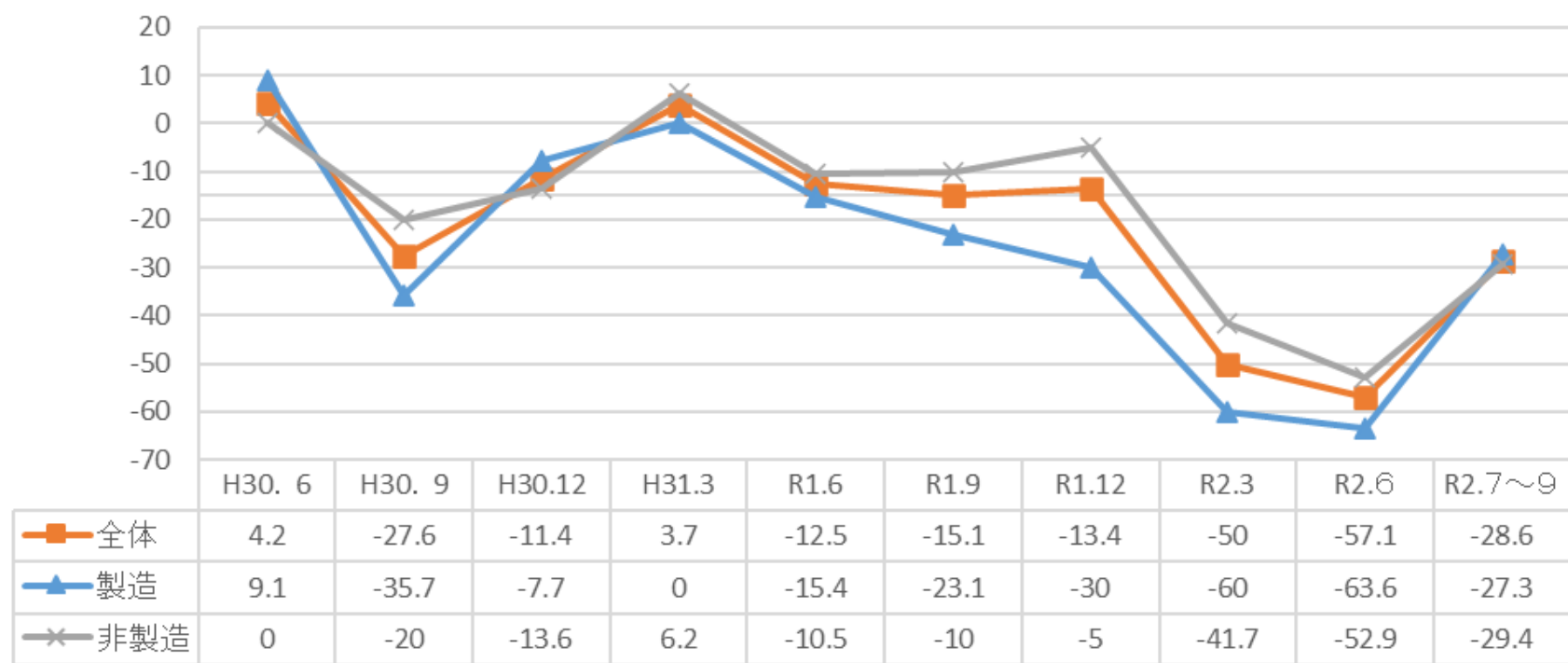
- 【調査時期】 四半期毎に調査(年4回実施)
- 【調査期間】 令和2年6月
- 【調査対象】 当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	11
建設	6	4
小売	13	6
サービス	17	7
合計	53	28

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



6月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は3.6ポイント悪化し、非製造業は11.2ポイント悪化しています。6月と比べて7月~9月までの見通しは、全体では、28.5ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

《製造業》

- ・各企業ともに営業活動は自粛状態にあり訪問もできない。また製造の流れは依然として停滞している。(精密機械)
- ・ホームセンターへの売上は上昇している。家庭菜園の需要が伸びてきていると思われる。(農業)
- ・イベント出店で売上を確保していたが、イベント自体が中止となり売上がまったくなくなった。(農業)
- ・ほとんど影響がない。(鉄工業)
- ・海外取引先の業務が停滞したことにより、売上が減少した。しかし、徐々にであるが海外取引先の業務が再開しつつあるため上昇が期待できる。(精密機械)
- ・外食、土産、贈答品向け商品の生産が減少した。家庭用商品は内食需要増の影響で一時的に販売が伸長した。(食品)

《非製造業》

◇建設業

- ・まったく影響を受けていない。(建築工事)
- ・多少景況がある。重機を発注しているが納期が延びている。(建築工事)

◇小売業

- ・土産物店については、大幅な減少。当面回復の見込みなし。(土産物店)
- ・客数の減少(スーパー)
- ・クラス会での集合写真、イベントでの撮影、集合写真等は、今年は見込めない。スタジオ写真のメインである七五三、成人式の時期にコロナが流行るとかなりまずい状態になる。(写真館)
- ・学校給食、飲食店への販売は減っているが、家庭での消費が増えたため、総合的にはトントンである。(食料品)

◇サービス業

- ・観光客は、ほぼ0。ビジネスのご利用も激減している。(宿泊業)
- ・利用控え、施設などの閉鎖によりサービス利用減少、売上下降。(福祉業)
- ・長期団体客の宿泊がほぼ終了し、5月の団体予約がキャンセルとなり再開が予測できない。来年の秋まで営業が不安である。(宿泊業)
- ・自動車の買い替え等がなく、じりじり減少。電話などの新規問い合わせも減少。(保険業)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)